



沖縄女子短期大学 白百合同窓会 会報

しらゆり 2023.3 (令和5年)



【発行所】沖縄女子短期大学 白百合同窓会 〒901-1304 与那原町東浜1番地 TEL098-946-3907

【同窓会会長挨拶文】

卒業式祝辞

卒業の皆さんご卒業おめでとうございます。そして、平田学長をはじめ諸先生方にも、重ねてお祝いを申し上げます。同窓会を代表しまして心よりお祝いを申し上げます。

皆さんは、この2年間に沖縄女子短期大学の生徒として、学生の本分である勉強はもちろん、職場での様々な実習、資格試験、ボランティア活動等に取り組んできた成果が、これまでの卒業生同様、伝統の1ページを飾ることとなりました。

さて、学生生活を共に過ごした同期生は、大切な友人です。機会があれば集い、お互いの成長を共に語らい合うことになるでしょう。そして在学中に知り合った仲間も、これから先も助け合いながら人生を歩んでいく、大切な人間関係となります。この縦と横の絆は、皆さんのこれからの人生の中で、共に相談し力を合わせて歩む大きな礎となります。この絆をさらに広げたのが同窓会です。皆さんが今後新しく経験する社会のなかで、困難な状況になったときのみならず、普段から私達先輩を頼ってください。私たちは後輩の皆さんを支援することに力を惜しみません。沖縄女子短期大学卒業生として、少しでも社会に貢献できるよう大きく成長することを願っています。そして、成長を遂げたのちに、皆さんが受けた恩恵を次世代の後輩たちへと返してください。それが、皆さんがお世話になった大学への恩返しになることでしょうか。結びに、ご卒業ご修了されました皆さんの活躍と、未来に幸多からんことを祈念し、祝辞と致します。

同窓会会長 比嘉佳代



【学生代表挨拶】

コロナ禍の中で入学した当初、楽しみにしていた大学生活も遠隔授業と面接授業による分散登校で、友人たちとも会えず、会っても話せない日々が続いていました。

あつという間に前期の授業も終わり、後期に入ると、少しずつ学生生活にも慣れてきて、12月には入学後初めてのイベント「バレーボール大会」がありました。クラスリーダーを中心に全学生で協力しながら取り組み、各クラス全力で戦ったことも楽しい思い出のひとつです。

学生生活では、楽しいことばかりではなく、たくさんの壁にぶつかりました。私はもともと人見知りと同じ高校からの友達がいないうちで、不安を抱えながら学生生活が始まりましたが、授業の中で、グループワークを多く学び、人とのコミュニケーションを取ることが大切だということを教わり、自ら積極的に友達の輪に入るようになりました。

2年生になり、少しずつコロナが治まり、行事ができるようになってきました。6月には、新入生歓迎レクレーションとして「ミニ運動会」を開催し、たくさんの種目の競技を行いながら、クラスのみんなとももちろん、1年生とも交流できるようになり、みんなのキラキラとした笑顔がとても印象的でした。11月には、3年ぶりに「沖女祭」を開催し、学生会として、準備から当日の企画・運営まで一生懸命頑張ったおかげで、とても満足できました。この2年間の思い出を胸に、立派な社会人として、また、沖縄女子短期大学の卒業生として、頑張っていきたいと思えます。

令和4年度 学生会長

島袋 聖海(きよか)
(児童教育学科 初等教育コース)

